

事務事業名	本庁部局 公共施設解体撤去事業		所属部	総務部	所属課	管財課
総合計画体系	政策名	〈I〉みんなで築くまち〈協働・行政経営〉		所属G	財産管理監視G	課長名 富山 照夫
	施策名	〈08〉健全財政の維持		担当者名	原 淳夫	電話番号:0854-40-1025 (内線) 2373
	目的・対象	市・財政	意図 健全に運営する。	予算科目	会計 款 大事業 大事業	公共施設管理事業
	基本事業	〈025〉効率・効果的な財産の管理運用			項 目 中事業 中事業	公共施設解体撤去事業
目的・対象	基金・財産	意図 効率・効果的に財産を管理運用する。				

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

① 対象(誰、何を対象にしているのか)	② 意図(対象がどのような状態になるのか)
元庁舎施設である普通財産	①役割を終えた建物を解体し、次の用途へ転換する。
③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
事業期間 <input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 ( 年度 ~ ) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( R3 年度 ~ R6 年度 )	元庁舎施設の解体・整備、引継ぎ部局への引き渡し
④ 主な活動	⑤ これまでの改革・改善経緯
R4年度実績(R4年度に行った主な活動) ・元掛合センター解体(担当) 書庫は解体せず今後も使用する。また、複数あった倉庫の解体により、規模縮小した倉庫を一棟建設した。引き続き掛合総合センターが管理・使用する。	(この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?) 解体後の跡地の取扱いを議論し、できるだけスムーズに解体に着手できるように努めたきた。

(2) 事務事業の指標

成果指標	単位	R2年度(実績)	R3年度(実績)	R4年度(実績)	R5年度(計画)
ア 事業委託	千円	0	9,095	0	10,600
イ 工事請負費	千円	0	84,557	119,322	0
ウ 減少した建物面積	m <sup>2</sup>	0	1,953	1,747	0
エ					

(3) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (R4年度決算)	② コストの推移	単位	R2年度(決算)	R3年度(決算)	R4年度(決算)	R5年度(計画)
工事請負費:119,322千円 (地方債)合併特例債	財源内訳	千円				
	国庫支出金	千円				
	県支出金	千円				
	地方債	千円	0	83,800	113,300	10,000
	その他	千円	0	0	6,000	600
	一般財源	千円	0	10,596	22	0
	事業費計	千円	0	94,396	119,322	10,600

2 事後評価【SEE】

① 事業実績における成果	町役場であった元センターは、建物として大きく解体費用が掛かることから進んでいなかったが、解体し、新たな用途へ生まれ変わることで利活用を図っている。
② 事業実施するうえでの課題	有害物質調査等法規制が年々厳しくなり、これに伴う費用の増加が著しい。
③ 課題解決に向けた改革改善等	市全体で公共施設解体が進む中で、財産の処分や利活用に向けた取り組み。